

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1236	単位数	2
担当者名	竹野 学	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

ゼミでは文献の輪読を通じて、下の到達目標に掲げたような、文系の大学生として最低限身につけておくべき技術の習得をめざします。

今期は、日本や北海道の観光資源の大きな柱の一つである「食」、その中でも農産資源について学習するために、世界および日本の農業についての入門的文献である下記のテキストの輪読を行います。また必要に応じて、農産物生産・流通に関するフィールドワークを行うことも予定しています（開講後相談）。それらを通じて、世界・日本の農業が今後の日本や北海道の観光や経済においてどのような可能性を持つものなのか、およびグローバリズムの課題を各自で考えることが狙いです。を各自で考えることが狙いです。

そして、その調査学習の結果をプレゼンテーションという形で発表してもらいます。

なお、本ゼミは卒業論文執筆を予定している4年生が受講対象になりますので、卒業論文作成を考える受講生には、そのための準備作業も取り入れられます。

● 到達目標

- 1. 著者の伝えたいことを正確に読取ることができる。
- 2. 読んだ文章を的確に要約して文章化することができる。
- 3. 自分の考えを口頭や文章で他人に伝えることができる。
- 4. 問題を発見し、その解決に必要な情報を収集・分析・整理しその問題を確実に解決できる。
- 5. 多文化・異文化に関する知識の理解を養う。

● 授業内容

- 1週目 打ち合わせ—ゼミの進め方の説明、報告順の決定と文献の調べ方の解説
- 2週目 学習のための基本的技術の確認（読書法、資料調査法、レジュメ作成法など）
- 3週目 『食べものから学ぶ世界史』序章輪読
- 4週目 『食べものから学ぶ世界史』1章前半輪読
- 5週目 『食べものから学ぶ世界史』1章後半輪読
- 6週目 『食べものから学ぶ世界史』2章前半輪読
- 7週目 『食べものから学ぶ世界史』2章後半輪読
- 8週目 『食べものから学ぶ世界史』3章前半輪読
- 9週目 『食べものから学ぶ世界史』3章後半輪読
- 10週目 『食べものから学ぶ世界史』4章前半輪読
- 11週目 『食べものから学ぶ世界史』4章後半輪読
- 12週目 『食べものから学ぶ世界史』5章輪読
- 13週目 『食べものから学ぶ世界史』6章輪読
- 14週目 関連映像視聴+ディベート（or農産物生産・流通に関するフィールドワーク）
- 15週目 各自の調査学習に基づくプレゼンテーション+ディベート
- 16週目 全体のまとめ+フィードバック（但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う）。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 1週目は輪読の担当箇所を決めますので、必ず第1テキストを持参してください。
- 報告者は報告に向けてテキストを精読し内容を簡潔にまとめ、関連文献の調査などの準備を行ってください。また、参加メンバーはテキストを読んで、質問事項や議論すべき内容を各自で考えてきてください（所要時間1～2時間）。また、当日の議論で疑問が出た点や不明のままに終わった点などの調査・確認を復習として行ってください（所要時間1時間程度）。
- それらの中で受講生各自が関心を持った「食」に関するテーマについての調査学習の成果をゼミの後半期間に発表してもらいます。

● 成績評価の方法・基準

報告の内容（50%）、討論への参加態度（50%）などで総合的に評価します。なお、無断欠席をする学生には単位取得を認めません。なお、先輩学生として下級生の受講生に対しての模範となっているかや、ゼミ進行上の指導を行っているかなどの点も評価の対象に含めます。

● 履修上の留意点

毎回の報告者を決めて、報告者にレジュメの作成と報告をしてもらい、それをもとにして全員で議論をします。そのため、全員が毎回必ずテキストを読むことがゼミに参加するための前提となりますし、遅刻や無断欠席は厳禁です。

また期末の課題などは課しません。毎回のゼミの参加状況で評価がなされます。

なお、今後コロナウィルスの感染状況などによって、対面講義が出来ずにオンライン講義になった場合には、講義や試験・レポートの回数・形式などに変更が生じる可能性があります。その場合には改めて通知します。

● 課題に対するフィードバックの方法

提出課題やゼミ中に提示された疑問・質問などでゼミ時間内に対応できなかった事柄については、ゼミ中もしくはCoursePowerを利用して全員ないし個人にフィードバックを行います。

● テキスト

- ・平賀緑『食べものから学ぶ世界史—人も自然も壊さない経済とは？』岩波ジュニア新書、2021年、本体820円、ISBN978-4-00-500937-4

● 参考書

- ・平賀緑『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』昭和堂、2019年
- ・佐藤洋一郎『米の日本史』中公新書、2020年、1,078円
- ・生源寺真一『日本農業の真実』ちくま新書、2011年、836円
- ・読売新聞経済部『ルポ 農業新時代』中公新書ラクレ、2017年、946円
- ・ほか各回のゼミ内容に関連する論文・記事などその都度指示、ないしコピーを配布します。

● 更新日付

